



# 第16回アジア太平洋ITSフォーラムへの参加概要について

## 第5世代モバイル推進フォーラム事務局

### 1. はじめに

高度道路交通システム（以下、ITS（Intelligent Transport Systems））とは、最先端の情報通信技術を用いて人と道路と車両とを情報でネットワークすることにより、交通事故、渋滞などといった道路交通問題の解決を目的に構築する新しい交通システムである。（国土交通省ホームページより）

アジア太平洋は、「ITSの地域的活動を意味するために総称的に呼んでいるものでアジア及びオセアニア地域」のことをさし、同地域でITS推進活動としては最大のイベントとして位置付けられるITSフォーラムは、1995年に横浜で開催されたITS世界会議後に、日本の提唱により開催されたものである。

第1回はアジア太平洋地域ITS セミナーとして1996年9月に産学官連携の下、東京で開催され、日本のVERTIS（現ITS Japan）が事務局となり、ITSを通じた貢献を目的として、日本を含む14カ国/地域を招聘して開催された。ITS世界会議がアジア太平洋地域で開催されない年に、年1回定期的に開催され、2002年の第5回ソウル大会から、アジア太平洋地域ITSフォーラム（以下AP（Asia Pacific）フォーラム）と改称されている。アジア太平洋地域のITS組織としては、11カ国/地域が正式加盟し、APフォーラムの開催をはじめとして、本地域でのITS 推進活動における協力関係をうたうMOU（覚書）が締結された。MOUで合意されたアジア太

平洋地域での協力関係をITS アジア太平洋（ITS AP）と呼び、APフォーラム、世界会議対応などの連携によるITS APの事務局は、当面ITS Japanが努めることで合意されており、また、議長国は次期APフォーラム開催国が務めることになっている。（ITS Japanホームページより）

第16回アジア太平洋地域ITSフォーラム福岡が、2018年5月8日から10日まで福岡国際会議場において開催され、第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）から本フォーラムに参加し、展示ブースを出展したので、関係者の協力を得て5GMF事務局から参加概要を報告する。

### 2. 開催概要

第16回を迎えた本フォーラムは、アジア太平洋地域を中心に、ITS、自動車技術、センサー等部品技術等の幅広い専門家が集まり、最新のITS技術に関する各種講演や展示、自動運転車を用いたデモンストレーションや学生を対象としたアイデアソンが行われた。

- (1) 会合： The 16th ITS Asia-Pacific Forum  
FUKUOKA 2018
- (2) 会合テーマ：“Everyone’s Mobility by ITS”
- (3) 日程： 2018年5月8日（火）～10日（木）  
9:00～17:30（最終日12:30）



■写真1. 会場の外観



■写真2. 開会式の様子



■写真3. 坂井 学 総務副大臣

- (4) 場所： 福岡国際会議場、約2,500名が参加
- (5) 主催： アジア太平洋地域ITSフォーラム2018福岡実行委員会
- (6) 後援： 総務省、経済産業省、国土交通省、警察庁、福岡県、福岡市ほか
- (7) 参加実績： 参加者総数3,556名、会議参加者数1,066名、参加国数23、出展団体数80  
投稿発表数54、開催セッション数46

オープニングでは、主催者を代表し本フォーラム実行委員長の中尾 和毅氏（西日本鉄道・常任顧問）の歓迎挨拶に続き、主催自治体を代表し高島福岡市長の歓迎挨拶が行われた。来賓として、総務省の坂井 学 副大臣、小川福岡県知事の挨拶が行われた。最後にAPフォーラムを代表し、ITS Japanの天野専務理事から挨拶があり、壇上で参加したAPフォーラム代表者の紹介が行われた。

## 2.1 講演・セッション

- (1) 全体セッション1：Impact on society by new era of mobility：

小川福岡県知事の基調講演の後で、日本（トヨタ）、米国、中国、インドネシアの産業界等から、社会問題や交通事情に基づいたITSに対する新しい取り組みが紹介された。

- (2) 全体セッション2：ITS, contributing to the solution of the social challenges：

総務省 竹内電波部長（当時）の日本のITSの開発状況やコネクテッドビークルでの活用が期待される5G関する基調講演に続いて、日本（九州大学）、台湾、シンガポール、

オーストラリアの政府機関、アジア開発銀行から社会変革に向けた試み等が紹介された。

- (3) ハイレベルパネル：Government Panel-Automated driving for the realization of Society 5.0：

内閣府、総務省、国土交通省、警察庁による講演やパネルが行われた。総務省 新世代移動通信システム推進室 中里室長から日本におけるITSや5Gの開発状況についての講演があった。



■写真4. 竹内 芳明氏  
総務省 総合通信基盤局  
電波部長



■写真5. 中里 学氏  
総務省 新世代移動通信  
システム推進室長

## 2.2 展示・デモ

会場内外において、自動運転車を用いたデモンストレーションや試乗があった。

- (1) 展示

5階展示会場において、5GMF並びにITS情報通信システム推進会議がブースを出展し、それぞれの活動紹介を行っ



■写真6. 展示ブース（5GMF、ITS情報通信システム推進会議）

た。5GMFでは5G総合実証試験のビデオ放映、ブックレット（2017年度5G総合実証試験レポート）の配布を行った。ITSでは通信料に関して、5Gでは5G実証試験のビデオに多くの来訪者があり、導入時期や技術的な特徴などの質問が多く寄せられた。

### (2) アイデアソン

国内外の100名弱の学生が参加し、「ITSを活用していかにしてアジア各国の交通事故を減らすか」をテーマにグループ別討議を行い、解決のためのアイデアの発表が行われた。

### (3) イベント

自動運転やアプリケーションのデモンストレーションとして、バス模擬走行実演、AIバス乗車体験等が行われた。

## 3. おわりに

今回初めて5GMFからITSのAPフォーラムに出展したが、多数のセッションと大規模な展示に驚いた。5Gに対する理解も深まっており、総務省講演でITS等のインフラ基盤としての5Gの重要性が指摘され、研究者、開発技術者、アイデアソンの学生等の間で関心の高まりを実感した。5GMFは、ITSが5Gの利活用において、重要な分野であることから、交流を深めていく所存である。引き続き、ITS関係者、5G関係者のご支援・ご協力をお願いいたします。